

THE ACTION PLAN





2022年 手続要覧



目次

1 ロータリーの基本理念	2
2 ロータリーの戦略計画	6
3 国際ロータリー定款	8
4 国際ロータリー細則	12
5 標準ロータリークラブ定款	46
6 標準ロータリークラブ定款	54
7 国際ロータリークラブ定款	55

参考文献について

目次

1 ロータリーの基本理念	2
2 ロータリーの戦略計画	6
3 国際ロータリー定款	8
4 国際ロータリー細則	12
5 標準ロータリークラブ定款	46

1 ロータリーの基本理念	2
2 <u>ロータリーの戦略計画</u>	6
3 国際ロータリー定款	8
4 国際ロータリー細則	12
5 標準ロータリークラブ定款	46

2 ロータリーの戦略計画

- ロータリーのビジョン声明

4つの優先事項

- より大きなインパクトをもたらす
 - 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的な関わりを促す
 - 適応力を高める

ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして
自分自身の中で、持続可能な良い変化を
生むために、人びとが手を取り合って行動する
世界を目指しています



4つの 優先事項



「優先事項」から「行動」へ



ロータリー行動計画

戦略イニシアチブ

より大きな

インパクトをもたらし



ロータリーのインパクトを測定し、広く紹介していくための一貫したベストプラクティスとツールを開発する。

大規模プログラム補助金を発展させ、世界に変化をもたらすための新しい考え方の枠組みを提供する。



何を継続し、何を開始し、何を廃止すべきかについて客観的な提案をするための、評価の枠組みをつくる。

参加者の

基盤を広げる



ロータリーのDEIに関する、達成可能で測定可能、かつ有意義な結果を伴う包括的な行動計画を立てる。

住んでいる場所にかかわらず、人びとが参加して共に行動できるよう、新しい提供物やこれまでと異なる参加者モデルを試行し、評価する。

参加者の

積極的な かかわりを促す



参加者中心のアプローチを採用し、会員や参加者がロータリーにもたらすことの価値が認められていると実感できるようにする。

人びとがロータリーでの体験から何を得ているかをよりよく理解できるように、会員の参加と満足度を測定する方法を検討する。



適応力を高める



事務局からクラブに至るロータリー全体で、変革管理の戦略を採用し、運営上の課題に取り組み、より機敏に対応できるようにする。

クラブでできることを考えよう：
rotary.org/actionplan

Rotary 

A photograph of four people, three men and one woman, standing together at what appears to be a Rotary International conference or meeting. They are all smiling and wearing blue lanyards with Rotary logos. The man in the center is wearing a white shirt with a large Rotary logo. The woman on the far right is wearing a black and white patterned top. The background features various banners and signs, including one that says "STEIGERUNG UNSERER" and another that says "AMÉLIORER NOTRE CAPACITÉ D'ADAPTE".

私たち一人一人が
世界を変える行動人



行動計画 優先事項1：

より大きなインパクトをもたらす

- ・ ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ・ プログラムおよび提供する体験に焦点を当てる
- ・ 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める



・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する

- 
- ・ プログラムおよび提供する体験に焦点を当てる



- 1.インパクトをもたらす奉仕プロジェクトの第一は「ポリオ根絶」です
- 2.地域のニーズ調査を実施する
- 3.奉仕活動の焦点を定める
- 4.グローバル補助金または地区補助金を活用する
- 5.プロジェクトの実施前と実施後に評価を行う



行動計画 優先事項2：

参加者の基盤を広げる

- ・ 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ・ ロータリーへの新しい道筋を創り出す
- ・ ロータリーの開放性とアピール力を高める
- ・ 活動成果とブランドに対する認知を築く

- ・ 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する





・ ロータリーへの新しい道筋を創り出す



- ・ロータリーの開放性とアピール力を高める



・ 活動成果とブランドに対する認知を築く

1. クラブの会員増強に加え、地域社会の新しいグループと協力の可能性を探る
2. 地区で新クラブの設立を検討する
3. 説得力のある（ロータリー）ストーリーを伝える
4. 公共イメージの向上

行動計画 優先事項3：

参加者の積極的なかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的/職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

- ・ クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する



- 
- A large outdoor gathering of people and bicycles under striped awnings. The scene is set on a sandy ground with several large, striped awnings in blue, yellow, and white. Numerous bicycles are parked in rows in the foreground. In the background, a large crowd of people is gathered, some standing and some sitting. The sky is bright with scattered clouds. The overall atmosphere suggests a community event or a fair.
- ・ 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
 - ・ 個人的/職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する



・リーダーシップ育成およびスキル研修
の機会を提供する

1. 人として、また職業人として重要な価値を現会員に提供することに注力する
2. ロータリーと関わる全ての人を「参加者」とみなす
3. ラーニングセンターを活用する

行動計画 優先事項4：

適応力を高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す



・ 研究と革新、およびリスクを
いとわない文化を築く

・ ガバナンス、構造、プロセスを合理化する





・意思決定におけるより多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

1. 地域社会での新しい活動や奉仕プロジェクトのアイデアを募る

1. 新しいアイデアを試すため、少額の資金を確保しておく

2. クラブ内の役職、手続、タスクについて見直す

3. 引継ぎ計画を策定する

3年間の目標設定の具体的項目は「行動計画（方針）」の4つの優先事項に基づいています

より大きな
**インパクトを
もたらす**

参加者の
基盤を広げる

参加者の
**積極的な
かかわりを促す**

**適応力を
高める**

会員増強

クラブの奉仕・親睦活動

ポリオ根絶

ロータリー財団への寄付

クラブの戦略計画

公共イメージとコミュニケーション

国際ロータリー第2720地区 ヴィジョン実現ロードマップ(2024年7月~2027年6月)

地区ヴィジョン 地域と親しみ、ロータリーを繋ごう

地区ヴィジョンをロータリーの Action Plan で実行しよう

Action Plan	行動目標	年次目標項目	2023-2024 DG 膳所和彦	2024-2025 DG 三村彰吾	2025-2026 DG 藤田千克由	2026-2027 DG 延岡研一
より大きなインパクトをもたらす 2720地区から世界で活躍するロータリアン・ローターアクターを育てよう	◆ 財団の寄付目標を達成 ◆ 各クラブのポリオデーイベントをサポート ◆ 奉仕活動の効果の数値測定能力を高める	● 年次基金寄付額/人 ● ポリオプラス寄付額/人 ● PHS会員数 ● 恒久基金 ● GG件数 ● RACのDG件数 ● 青少年交換人数	● \$126.27 ● \$22.41 ● 23人 ● \$13,169.95 ● 2件 ● 0件 ● 3人	● \$150 ● \$30 ● 53人 ● \$15,000 ● 3件 ● 2件 ● 4人	● \$150 ● \$30 ● 83人 ● \$17,000 ● 4件 ● 3件 ● 4人	● \$150 ● \$30 ● 113人 ● \$20,000 ● 4件 ● 3件 ● 4人
参加者の基盤を広げる 地域にロータリーの種を蒔こう	◆ 他団体とのパートナーシップを広げる ◆ 多様性のある衛星クラブの設立推進 ◆ 地域社会への公共イメージアップに努める	● RC数と会員数 ● RAC数と会員数 ● IAC数と会員数 ● 衛星クラブ数 ● WEB例会クラブ数 ● GGメディア掲載 ● RYLA参加人数 ● RCC数	● 74C/2298人 ● 12C/103人 ● 30C/435人 ● 2クラブ ● 1クラブ ● 0回 ● 13人 ● 2	● 74C/2450 ● 15C/130人 ● 31C/445人 ● 3クラブ ● 2クラブ ● 3回 ● 25人 ● 3	● 75C/2500人 ● 16C/150人 ● 32/464人 ● 4クラブ ● 3クラブ ● 4回 ● 30人 ● 全国RYLA ● 4	● 76C/2600人 ● 17C/160人 ● 34C/485人 ● 5クラブ ● 4クラブ ● 4回 ● 30人 ● 5
3523地区・TSMC熊本進出にともなう新クラブ創設の可能性検討						
参加者の積極的な関りを促す 幅広くロータリーを親しんで貰おう	◆ 多くの会員が参加し、共感できる研修、研究会、イベントを企画 ◆ My Rotary登録を進め、ラーニングセンターでの学習の機会を広報 ◆ 会員維持率向上	● 地区大会登録数 ● 地区研修協議会登録数 ● RLI終了証授与人数 ● My Rotary登録率 ● 活性化WS参加クラブ/人	● 951人 ● 764人 ● 57人 ● 46.18% ● 56C/169人	● 1100人 ● 756人 ● 95人 ● 60% ● 57C/200人	● 1200人 ● 840人 ● 95人 ● 75% ● 57C/250人	● 1200人 ● 860人 ● 110人 ● 80% ● 60C/300人
適応力を高める 柔軟なロータリアン、ローターアクターを育てよう	◆ 地区のガバナンスと構造、手続きを効率化 ◆ 多様化したクラブ運営、例会をサポートする	● 戦略計画策定クラブ数 ● 優秀クラブ賞受賞クラブ ● HP他SNS活用 ● クラブ細則作成サポート	● 35クラブ ● 2クラブ	● 40クラブ ● 10クラブ ● 規定審議会出席	● 60クラブ ● 30クラブ ● 規定審議会報告会	● 76クラブ ● 50クラブ

クラブ行動計画推進リーダー

参加者の基盤を広げる	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25	2025-26	2026-27
計画リーダー役職・氏名:	事務局入力欄			会長／計画のリーダー入力欄		
ロータリアンの入会数						
ロータリアンの退会数						
ロータリアンの純増(純減)数						
女性会員の数/クラブ内比率(%)						
新ロータリークラブの新設数/設立時会員数						
新ローターアクトクラブの新設数/設立時人数						
既存インターアクトクラブ数/人数						
新インターアクトクラブの新設数/設立時人数						
RYLAの参加人数						

- これからロータリーで話題となるワード(予想)

「行動計画(Action Plan)」

「DEI(Diversity Equity Inclusion)」

「帰属性(Belonging)」

「3-Year Rolling Goals」

「中核的価値観(Core Value)」

「四つのテスト」

「クラブの多様性」

•**全ては会員増強のために**

HACER
EL BIEN

DEL
BIEN

HACER
O BIEN

UNITE
FOR
GOOD

우리 함께
선행을



よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary 